

附属札幌中学校「学校だより」

藤 房

北海道教育大学
附属札幌中学校

令和7年10月31日発行

No.8

爆ぜたその先、新たな芽

生徒会担当 仲鉢 大地

令和7年度第14回藤華祭が9月20日に開催されました。今年のテーマ「爆ぜろ」は、生徒のどのような藤華祭にしたいかという思いを基に、「それぞれのアイデアや今までの経験を爆発させ、これまでにない最高に思い出に残る藤華祭にする」「生徒一人ひとりが準備活動の中で当日に向けてエネルギーを蓄え、藤華祭当日に大きな爆発を起こし、熱く盛り上げていけるような藤華祭にする」という願いを込めて、藤華祭特別委員会(生徒会役員会)で決定したものでした。

各プロジェクトが限られた時間の中で、テーマから連想されるものを創造し、様々な形で表現していました。たくさんの苦労があったと思いますが、準備期間中から当日まで、附属中学校の生徒がもつ個性が集結し多彩な光を放った、まさに「爆ぜろ」に合致する各プロジェクトの取組が校舎中に溢れていきました。当日のステージ発表での盛り上がり、教室展示の活気、校舎内を明るく彩った装飾の数々は、この日のために十二分に蓄えてきた生徒たちのエネルギーの大放出を表すものだったと思います。

もう一つ、この日、私が実感したぜひ皆さんにも知ってほしい附属中学校の生徒の姿を紹介させていただきます。実のところ、当日の幕間の各プロジェクト長のスピーチはもともと予定されていたものではありませんでした。予定よりも早くステージ発表が終わったことで生まれた時間を繋ぐために、生徒会の生徒の発案で急遽行われたものでした。突如、話を振られる生徒のことを考えると正直、運営担当としては不安もありました。ただ、発案した生徒の「彼らならできる」という強い自信と信頼に後押しされ、その行動力に賭けて決行することにしました。おそらく各プロジェクト長も、自分たちの藤華祭を途切れさせてはいけないと感じ取ってくれたのでしょう。そうした状況の中でのスピーチでした。

突然のことにも関わらず、各プロジェクト長がこれまでの活動を自分の言葉で語っていたのは、仲間と本気で取り組んできたからこそその自信と、附属中学校一体となってこの藤華祭を盛り上げたいという熱意があったからこそそのものだったと強く感じる瞬間でした。また特に、この藤華祭を牽引した第78期の、温かく「みんなで楽しむ」を大事にするカラーが色濃く出た本当に素晴らしい藤華祭になったと思います。「爆ぜる」の語源は、草木の実(果実)や豆(種子)等が熟して殻が割れ、中身が飛び散る現象に由来します。また、火が勢いよく音を立てたり、ものが飛び出したりする様子を表す言葉もあります。多くの方は、後者の由来のイメージをもたれると思いますが、当日に向けて試行錯誤を繰り返し、質の高いものを創り上げていこうと熟考し仕上げていく生徒の姿や、プロジェクト活動等を通して最後の藤華祭となる3年生から後輩たちへとバトンが繋がっていく様は、私にとっては前者の由来を感じさせるものでした。3年生が蒔いてくれた種は、きっとこれからの附属札幌中学校の新たな文化として、新たな芽を出し、大輪の花を咲かせてくれると信じています。3年生にとってもまた、仲間と共に成し遂げたこの経験が、これから明るい未来を照らす光となることを期待しています。

最後になりますが、藤華祭開催にあたり、バザーの企画・運営や駐車場での誘導、PTA合唱等、多大なる御協力、御支援をいただいたPTA役員や父親委員の保護者の皆様におかれまして、心より感謝申し上げます。また、日頃から本校教育活動に御理解、御協力いただいております保護者の皆様、御支援いただいておりますふじづる会の皆様におかれましても深く感謝申し上げます。今後とも、本校教育活動への変わらぬ御理解、御協力の程、よろしくお願ひいたします。

爆発的に盛り上がった藤華祭

第78期生徒会会長 角瀬 琉馬

皆さん、こんにちは。第78期生徒会会長の角瀬琉馬です。今年の藤華祭も、私たち生徒一人ひとりが主役となり、「爆ぜろ」というテーマのもとに企画・準備・運営と多くの工程を自分たちの手で作り上げた一大行事でした。限られた時間と資源の中で、プロジェクト活動や有志合唱など、それぞれの活動の中で知恵を出し合い、協力し、時にぶつかりながらも前向きに取り組んできた結果、笑顔と感動に満ち溢れた素晴らしい藤華祭になったと思います。(非常に盛り上がった会場の雰囲気にはまれ挨拶に大失敗してしまいましたが…。)

どのプロジェクトの企画も本当に工夫されていて、それぞれの持ち味が活かされていました。ステージ発表では、緊張しながらも練習の成果をしっかりと出し切り、多くの拍手と感動を呼びました。学校の装飾に関しても、細かいところまで気配りがされていて、前年度までなかった新しい取り組みで訪れた人たちを楽しませようという強い気持ちが伝わってきました。準備中にはうまくいかずに悩んだり、意見がぶつかったりすることもあったかもしれません、それを乗り越えた先に見えた笑顔は、何よりも大きな財産になったと思います。

また、先生方や保護者の皆様にも、多大なるご協力とご理解をいただきましたことに心から感謝申し上げます。私たちが思い切った活動を行えるのは、いつも見守ってくださる大人の存在があってこそです。そして生徒の皆さん、今回の藤華祭で得られた経験は、ただの「学校行事」という枠を超えた、人生における大切な学びになったのではないでしょうか。仲間と一緒に何かを作り上げることの楽しさ、責任感、達成感、苦労を乗り越える力、どれも教室の中では得られない、貴重な体験でした。藤華祭は終わりましたが、この熱量と団結力をぜひ、今後の学校生活にも活かしていってほしいと思います。合唱祭、スポーツフェスティバル、そして卒業…。それぞれが自分の目標に向かって進んでいく中で、今回の藤華祭の経験がきっと自信や力になると信じています。最後に皆さん、本当に疲れさまでした。そして、ありがとうございました。

■PTA常務委員会の活動から

藤華祭のバザーは、毎年生徒が楽しみにしているものの一つです。バザーはメニューの企画から当日の販売に至るまで、PTA厚生委員の方が御準備くださっています。また9月25日には私立合同説明会が行われました。各高校の魅力や進路選択の視点等、貴重なお話をいただきました。こちらについても各高校の先生方との打ち合わせ等も含め、PTA総務委員の皆さんのが御準備くださっています。両常務委員の皆様、紙面を借りて心より感謝申し上げます。今号では、PTA厚生委員長の井村真理子様と、PTA総務委員長の船越美紀様からいただいた、行事を終えての御感想を紹介させていただきます。

第14回藤華祭バザーを終えて

PTA 厚生委員長 井村 真理子



厚生委員会では、藤華祭を盛り上げるべく、楽しんでいただけ
るバザーの企画・準備を進めてまいりました。今年はメニューを
増やし、予備として用意していた商品を当日販売するという新
たな取り組みにも挑戦しました。事前販売分を含め、すべての商品
を完売でき、ご協力くださった保護者・教職員の皆さんに心より
感謝申し上げます。

収益金はすべて学校にお渡しし、生徒の活動に活用されてい
ます。生徒とともに準備を進める中で、共に作り上げる喜びを感
じる貴重な時間を過ごすことができました。

ご協力いただいた皆さんに、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

2025年度私立高校合同説明会を終えて

PTA 総務委員長 船越 美紀

先日は、「2025年度私立高校合同説明会」を開催するにあたって、多くの皆様の御協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

本年度も5校の私立高校の先生方に来ていただき、各高校のカリキュラムや教育理念のみならずそれぞれの特徴ある校風を感じられる魅力的なプレゼンテーションを展開していただきました。

また、当日は、あいにくの雨にもかかわらず多くの保護者様に学校に足をはこんでいただき感謝申し上げます。会場では生徒も保護者の皆さんも最初から最後まで真剣な眼差しを向けて説明を受けてくれました。

生徒の皆さんには、今回の説明会をきっかけに高校生活をより具体的にイメージする事ができ進路選択の幅がひろがり、高校受験・進学がゴールではなく、どんな高校生活を三年間過ごし人生を豊かにしてゆくか、自分から何を主体的に学び掴んでいくのかを考えるきっかけになってくれたら幸いです。

なお、今回の説明会の様子を11月末日までオンデマンド配信しておりますので、当日来られなかった方はぜひご覧になってください。

今後とも総務委員会の活動に御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



■生徒会役員会議長団承認・引継ぎ式 後期委員承認式 が行われました。

10月17日、生徒会役員会議長団承認・引継ぎ式と後期委員承認式が行われました。後期委員承認式では、各委員長からの決意が述べられました。よりよい学校生活を目指し、仲間と協力しながら積極的に取り組もうとする気持ちが伝わる会となりました。



■全国国立大学附属学校 PTA 連合会 PTA 研修会 第16回全国大会 報告

9月26日～27日、全附P連PTA研修会第16回全国大会が東京で行われました。本大会は、北海道から沖縄まで全国国立大学附属253校園の保護者および教職員・教育後援会関係者が集まり、様々な事例や意見を共有し、情報交換・交流をする場となっています。本校からはPTA会長の中瀬正貴様、PTA副会長の福士絵里様、好光優理様、ふじのめPTA会長の山岸圭太様、ふじづる会会長の大坪宏誠様、が参加しました。基調講演やテーマ別分科会、そして情報交換会に御参加ください、時間が足りないと感じるほど大変有意義な時間になったとの御報告をいただきました。ありがとうございました。なお、PTA会長の中瀬様の全附P連参加の御感想を紹介させていただきます。



全附P連PTA研修会を終えて

PTA会長 中瀬 正貴

私自身、全国国立大学附属学校PTA連合会主催のPTA研修会全国大会には今回が初めての参加でした。「重ね合い」をテーマに、「子どもたちとこの国の未来のために」をスローガンとして掲げた本大会は、充実した有意義な東京での2日間となりました。

大会では、保護者や教職員が一堂に会し、共通する教育課題について学び合い、交流を深めることができました。初日の基調講演では、教科書にも作品が掲載されている児童文学作家・くすのきしげのり氏をお迎えし、「一人ひとりがみんな大切」と題したお話を伺い、思わず涙がこみ上げるほど心を揺さぶられました。

その後は、4つのテーマに分かれた分科会が行われ、夜には情報交換会も開催され、地域や校種を超えた交流が一層深りました。全国各地に同じ志を持つPTAの仲間がいることを実感し、お互いが共通認識のもとで精力的に活動していることを誇りに思いました。今回の研修会で得た学びを生かし、今後も附属中をさらに盛り上げていきたいと強く感じております。

※10月15日にはPTA文化講演会が開催されましたが、次号の学校だよりで紹介いたします。

11月の行事予定

| 日(曜日) | 行事等の予定 | 下校バス時刻(予定) |
|-------|---------------------------------|--|
| 1(土) | 第12回合唱祭(弁当持参) | 14:25 |
| 2(日) | 部活動不可 | |
| 3(月) | 文化の日／部活動可 | |
| 4(火) | 振替休日(合唱祭の振替)／部活動可 | |
| 5(水) | 【研究日】簡易清掃 | 16:10 |
| 6(木) | 3年学力テストC | 16:20 |
| 7(金) | D組給食交流／委員会・専門局会／生活・学習アンケート | 16:20 |
| 8(土) | 部活動可 | |
| 9(日) | 部活動可 | |
| 10(月) | 【職員会議】簡易清掃 | 15:10 |
| 11(火) | ふじの輪会 | 16:20 |
| 12(水) | 【研究日】簡易清掃 | 16:10 |
| 13(木) | | 16:20 |
| 14(金) | D組給食交流／第2回 PTA 役員選考委員会 | 16:20 |
| 15(土) | 部活動不可(附小学芸会) | |
| 16(日) | 部活動可 | |
| 17(月) | 【職員会議】／4時間日課 | 14:10 |
| 18(火) | 3年進路相談 | 16:20 |
| 19(水) | 3年進路相談 | 16:20 |
| 20(木) | 【研究日】簡易清掃／3年進路相談 | 16:10 |
| 21(金) | 3時間後給食／第1・2学年授業参観／学年・学級 PTA 懇談会 | 【1・2年】麻優)13:55 栄路)14:09 【3年】16:20 |
| 22(土) | 部活動可 | |
| 23(日) | 部活動可／勤労感謝の日 | |
| 24(月) | 部活動可 | |
| 25(火) | 委員会・専門局会 | 16:20 |
| 26(水) | 3年総合交流会／1・2年生午前授業／3校時後給食 | 【1・2年】麻優)12:50 栄路)14:09 【3年】麻優)16:20 栄路)16:46 |
| 27(木) | 1年生・総合 FW | 16:20 |
| 28(金) | 【職員会議】／帰り学活10分延長(簡易清掃) | 16:10 |
| 29(土) | 部活動不可 | |
| 30(日) | 部活動不可 | |